

会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 24年 9月 27日(木曜日)	開催時刻	13時 30分から 14時 30分
会議名	丸子地域協議会(平成 24年度第 7回)		
出席委員	齊藤重一郎会長、丸山かず子副会長、内田弘子委員、北村好美委員、工藤裕子委員、久保田和英委員、齊藤實委員、笹井文雄委員、佐藤重喜委員、清水三枝委員、竹花和彦委員、中澤ゆかる委員、松山慶子委員、宮坂雄一委員、宮下正明委員、村松正孝委員、山本進委員【欠席】池田佐代子委員、竹花節子委員、宮崎涼委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、宮澤センター次長兼地域振興課長、児玉地域振興政策幹、小相沢建設課長、滝沢上下水道課長、矢島丸子学校給食センター長、堀内市民サービス担当係長、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		

会議次第

1 開会（宮澤センター次長）

- ・配布資料の確認、欠席委員の報告

2 あいさつ（齊藤会長）

長かった夏も終わり、本日は本当に清々しく秋らしい天気になりました。このような天気の中で、松茸でも出てくれれば上田が元気になるのではないかと思います。

本日は、会議に入る前に久保田市議会議員から平成 24年度上田市議会報告、意見交換会の開催について説明していただくことになっています。委員の皆さんにおかれましては、当日はなるべく都合をつけていただき、是非参加をしていただければと思います。よろしくをお願いします。

・第 2回 平成 24年度「議会報告 & 意見交換会」について（久保田市議会議員）

- ・議会改革の一環で昨年から実施している。
- ・議会報告会の内容は、うえだ市議会だより 8月 1日号にも掲載している。
- ・昨年参加者から寄せられた意見等を参考に、今回は名称を「議会報告 & 意見交換会」とし、班編成や担当地区を一部変更した。
- ・議員からの報告は、委員会ごとに分担して説明している。
- ・参加者の意見や要望を聞くために、アンケート用紙を配布。昨年の回収率は 88%、結果はうえだ市議会だよりやホームページに掲載予定である。
- ・上田市議会の主催であり、議員個人や会派への意見や質問等は差し控えてほしい。
- ・昨年の正式な依頼は自治会連合会のみで、若者の参加者が少なかった。今年は地域協議会、上田市消防団、PTA 連合会、女性団体と 5団体に広げ、参加をお願いしている。
- ・10月 23日（火）から 27日（土）まで市内 9ヵ所で開催する。
- ・丸子地区は、10月 23日（火）午後 7時～8時 30分丸子文化会館小ホールで開催するので、是非ご参加いただきたい。

3 報告

(1) 分科会及び研究会での検討状況について(各分科会等の会長から協議内容を報告)

【市民団体交流と相互連携に関する分科会】

- ・会長に清水委員、副部長に松山委員が決定した。
- ・前期協議会で開催した市民団体交流会の趣旨などについて詳細説明があった。
- ・地域振興課から意見書に関する市の見解などについて説明を受けた。

(意見交換)

- ・事業内容を見てもらうことは、事業主体のやる気や継続意欲の向上につながる。
- ・各団体で共通する課題は、協議会として課題解消に向けた助言をしていきたい。
- ・各団体を結びつけるのではなく、地域協議会は各団体の活動を支援すること、助言する活動を行っていきたい。
- ・魅力アップ応援事業の自治会対象分は、新規応募がなければ来年度は0件となる。

(結論)

- ・事業や人に関する掘り起こしの検討を行う。
- ・団体間の連携に関する検討を行う。
- ・自治センターだよりを活用した地域づくりの呼びかけなどをもっと積極的に行う。
- ・魅力アップ応援事業の成果に関する現地調査をなるべく早く実施し、それぞれの課題や問題点、参考になるものを収集したい。
- ・本日の全体会後の分科会では、分科会として何が発信できるのかを検討したい。

【公共交通に関する分科会】

- ・会長に笹井委員、副部長に宮下委員が決定した。
- ・建設課からまりんこ号運行改定に至るまでの経過説明後、フリートーク形式で意見交換を行った。

(意見の内容)

- ・バス利用が“癖”になるようなイベントを考える。
- ・学校や保育園の保護者会だより等でバスの必要性をPRしてはどうか。
- ・バスの車体のデザインを変えたらどうか。
- ・運行改定について、市の広報だけでは周知徹底されない。もう少し考えてはどうか。

(結論)

- ・今後、利用者増加に向けた検討を行う。
- ・すぐに結論は出さず、変更等見直しは、改定後の運行の経過を見ながら考えたい。

【地域内分権と地域経営会議に関する研究会】(村松研究会長から報告)

第1回研究会(9月7日)

(研究会の進め方について)

- ・地域内分権の理解を深め、全委員の共有化を図る。
- ・先行している他都市の取り組み状況や観点、問題点等を把握する。
- ・他都市の取り組み状況を把握した後、上田市が進める第4ステージの勉強を行う。
- ・研究を進める中で、分科会へ引き上げる課題は出てくるのか。全体会議へ提案し、市へ意見書として提出する必要性は出てくるのか。これらを最終目標に取り組んでいく。

・1ヶ月～1ヶ月半に1回のペースで研究会を開催し、研究期間は未定である。

(研究内容)

- ・地域内分権について、岐阜県多治見市と富山県南砺市の取り組みを紹介し、議論した。
- ・今後も、地域内分権を先行する都市(愛知県豊橋市や高浜市、大阪府池田市、三重県名張市、群馬県草津市、長野県では長野市)の取り組みを研究する中で、上田市あるいは丸子地域で必要となる地域内分権のあり方を研究していく。

【新しい観光に関する研究会】(宮崎研究会長欠席のため事務局から報告)

第1回研究会(9月19日)

- ・「三才山トンネル開通時には80万人の観光客がいたが、現在は40万人以下である。この観光客の減少をどうしたら改善できるか。」をテーマにフリートークで討議。
- ・様々な意見が挙がっており、今後も研究会を開催し、引き続き検討を行っていく。

【地域の産婦人科医療を考える研究会】(丸山研究会長から報告)

- ・研究会開催はなかったため、会議内容の報告はなし。

(今後について)

- ・東御市助産所視察研修を10月22日(月)、上田市産院視察研修を11月13日(火)に行うことが決定しており、これらの研修を通してさらに一步研究を進めたい。

主な質疑の内容

- ・なし

4 その他

(1) 次回以降の会議の日程等について

- ・第8回丸子地域協議会 平成24年10月25日(木曜日)午後1時30分から
丸子地域自治センター4階 講堂
- ・第9回丸子地域協議会 平成24年11月26日(月曜日)
- ・第10回丸子地域協議会 平成24年12月21日(金曜日)

(2) 平成24年度自主的研究等の状況について

- ・事務局から資料説明。

資料1: 平成24年度全地域協議会における自主的研究等の状況について

主な質疑の内容

- ・なし

(3) わがまち魅力アップ応援事業のアンケート調査報告書について

- ・事務局から資料説明。
- ・全体会終了後に行われる分科会の協議資料にもしていただきたい。

当日資料: わがまち魅力アップ応援事業のアンケート調査報告書

主な質疑の内容

- ・なし

(4) 前回会議で質問のあった外来植物などの生態系への影響について(市民生活課)

一般的に、アカシアと呼ばれる植物の正式名称はニセアカシアで、この名前を使って説明させていただきたい。ニセアカシアは繁殖力が強く、城山公園周辺のようなクヌギやナラといった雑木においては、それらの樹木が減少するというような影響が考えられる。一方で、ミツバチの餌として養蜂家に利用されているという実態もある。

外来生物が生態系や人体、農林水産業に与える影響を防ぐための法律ということで「外来生物法」がある。前回の会議で話題になったアレチウリやオオキンケイギクといった植物は、「特定外来生物」に指定されており、栽培や生きたままの生態の運搬、種の販売等が禁止されている。植物では12種類が指定されている。

一方、この法律の中で、「要注意外来生物」ということで指定されている植物が84種類ある。これらは、栽培、運搬、販売等が禁止されていない。ニセアカシアも、「要注意外来生物」である。これらの「要注意外来生物」については、この生物が周辺に与える影響が未確認であったり、ほかの法律で規制されているものであったり、あるいはある用途に利用されているといった区分に細かく分けられている。ニセアカシアは、繁殖力が強いということで在来種植物に影響があるが、法面等の緑化に利用されているという実態があり、法律上、利用する個人や事業者に留意を促すという位置づけになっている。

ニセアカシアは、竹のように根から芽を出す性質があることから伐採だけでは駆除ができない。代表的な駆除方法としては、伐採後に根から出てきた芽に薬剤を散布する方法、もう一つの方法は、「巻き枯らし」と呼ばれる樹皮を環状に剥ぎ取り葉っぱからの養分が行き渡らないようにする、あるいは根からの水分を遮断した上で弱らせるということが考えられる。その場合にも、さらに様子を見て、出てきた芽を刈り取ることが必要になる。いずれにしても、ニセアカシアの駆除はかなりの時間や労力が必要だと言われている。

主な質疑の内容

(委員) 外来植物について、自治会や広報を通してもっとPRしてほしい。12種類と84種類という話があったが、それがどういうものなのかまだ一般的に広報が不足していると思う。まずは広く知ってもらうことが大事だと思う。その場合、ニセアカシアやアレチウリは比較的わかっているが、先頃写真入りで広報していただいたオオキンケイギクは、ほかの種類と見間違いやすく、わかりづらいというのが実情である。要望ということで、今後検討いただきたい。

5 閉会 14:30 地域協議会終了後、分科会等開催(第3 4会議室)